

# 発達と保育

(006教団・家庭020・発達と保育 育つ・育てる・育ち合う)

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

必要面接時数 **4**

## 1. 学習の到達目標と取り組み

目標	保育の学習体験の中で、自分たちがこれまでの、あるいは現在の「育つ」自分自身に目を向け、「育つ」ものの役割と、「育てる」ものの役割とを、自己の存在そのもののなかで交差・交差させながら成長することにより、異なる意見、立場や境遇の違いへの共感性を高め、さまざまな人々と共生していくことの出来る人格形成を目指している。保育の学習において、発達に関する知識理解にとどまらずそこから健やかな発達を支援するための保育者の役割や保育環境についても充実向上をはかる能力と実践的な態度を育てる。
目標に向けての具体的な取り組み	子どもの心身の発達及び発達を学び、運動機能や知的能力、社会性の発達等いろいろの側面があることを理解し、更に自己の存在自体を問い直し、人間の一生をライフサイクルとしてとらえ、その時期の心身の発達の流れを知り、人間は一生発達しつづける存在であることを認識させる。命を生み、はぐくむ保育は、究極的には生の尊重であることを理解し、子どもや周囲の人々とともに「育ちあう」喜びを共有できる態度を養う。

## 2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	第1章 人間としての発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の発達とはなにか。一人一人の問題として考えさせる。人間の一生をライフサイクルとしてとらえ、その時期の心身の発達とアイデンティティを確立してゆく発達の流れを知る。</li> <li>新生児、乳幼児は、能動的で身近な人間への同調性に優れており同調しながらやりとりを繰り返すことが、発達に影響していることを理解させる。</li> <li>外国と日本の児童観の変遷には同様の流れがあり、社会の人間観の変遷の影響も受けながら児童観が変化してきたことを理解する。</li> </ul>	1.人間発達の中の乳幼児期 2.発達観の変遷 3.児童観の変遷				第1回 7/7	レポート
5月	第2章 乳幼児の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長は身体の発育と心や体の機能の発達が相互に関連してなされてゆくことを理解し乳幼児期の発育の特徴を知る。</li> <li>発育と発達を支配する因子は遺伝的因子と環境的因子が影響していることを理解させる。</li> <li>乳幼児の生理的特徴を知り、健康に発育してゆく状況を把握し、あわせてその変化のめざましいことを理解させる。</li> </ul>	1.乳幼児期の発育の特徴	No.1	5/20	5/5	教科書 p4～p52	テスト
6月	第3章 乳幼児の精神発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の精神発達を知るには感覚能力・運動機能・言語・知的能力・社会性などいろいろな側面からとらえる必要がある。</li> <li>精神発達は絶えず次の段階への準備が行われながら順序良く、連続して進み、方向性もあることを理解させる。</li> <li>親との深い絆によって子どもは精神的に安定し、人を信頼するようになることを理解させる。</li> <li>子どもにとって家族だけでなくし家庭環境をささえる地域や社会全体の育児支援体制も必要なることを理解させる。</li> </ul>	1.乳幼児期の発達の特徴 2.乳幼児期の精神発達 3.対人関係の発達 4.心の健康と精神保健	No.2	6/20	6/2		
7月 8月	第4章 乳幼児の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの養護の必要性や目的を理解し、発達段階に応じた適切な養護の方法について考えさせる。</li> <li>食事は、生活習慣の確立や心の発達に重要な役割を持つことを認識させる。</li> <li>乳幼児に適した被服の素材・型・被服計画について学び理解させる。</li> <li>児童文化財の種類を知り、その表現の仕方が、感性・知的探究心などを豊かにすることを理解する。</li> <li>手作りおもちゃの製作を通じて、よいおもちゃの条件を理解し、その楽しさを知る。</li> </ul>	1.子どもの養護 2.子どもの食生活と衣生活 3.子どもの遊び	No.3	8/20	8/25	第2回 11/3	レポート
9月 10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期における生活習慣の習得の意義と重要性を理解させる。</li> <li>乳幼児の病気の特徴を理解させ、健康診査や予防接種について、理解させる。</li> <li>子どもの発達段階に合わせた安全環境づくり、安全教育の重要性を考えさせる。</li> <li>家庭環境や地域環境の移り変わりについて学び、それらが子どもに与える影響について考えさせる。</li> </ul>	4.生活習慣としつけ 5.子どもの健康管理 6.子どもの事故と安全 7.子どもの生活と環境	No.4	9/30	9/15	教科書 p53～ p108	テスト
11月 12月	第5章 乳幼児の保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人の人間が「育つ」ことの意味とともに子どもが成長していくためには、大人のはたらきかけが必要であることを理解させる。</li> <li>人間形成の基礎を培う乳幼児期の大切さと保育の意義を認識させる。</li> <li>子どもが保育者とのかかわりのなかで、信頼関係ができて「生きる力」を育んでいくことや、「心・体・知」が複雑に関係し合って発育・発達することを理解させる。</li> <li>保育所と幼稚園の違いを知り、家庭と保育所(幼稚園)が、信頼し合い、協力し合って子どもを育てる大切さを理解させる。</li> </ul>	1.保育の意義 2.保育の目標と大人(保育者)のかかわり 3.家庭保育と集団保育	No.5	12/10	11/17	第3回 2/9	レポート
1月 2月 3月	第6章 乳幼児の福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの福祉の意味を知り、福祉の理念について理解させる。</li> <li>子どもの福祉の理念と、子どもの位置づけを知る。</li> <li>「児童憲章」、「児童の権利に関する条約」についてその歴史的背景を知り、重要性を認識させる。</li> <li>子どもの福祉の理念に基づき子どもの福祉の基本的な考え方について理解し、子どもの福祉の重要性を認識させる。</li> </ul>	1.子どもの福祉とは 2.子どもの福祉と法律・制度 3.これからの子どもの福祉	No.6	1/25	12/15	教科書 p109～ p140	テスト

## 3. 評価の観点

評価の観点	観 点 の 内 容
関心・意欲・態度	子どもの健全な発達と環境に関心を持ち、理解する。
思考・判断	子どもの心身の発達や人間形成について、思考を深める。
技能・表現	子育て環境の変化について情報収集し、考察結果を表現できるか。
知識・理解	子どもの健全な発達と保育、福祉を理解し、基礎的・基本的な知識を身につけているか。